



いろいろな災害とそのときに注意すること

これまで学んできた台風などの風水害や地震、津波以外にも様々な災害が発生するかもしれません。どのような場合にも安全に行動できるように、準備しておくことが大切です。

他にも、雷や竜巻などの災害にも気をつけよう。



アオイ

大雪による被害（雪害）

積もった雪により、鉄道・航空・道路などへのえいきょうが出たり、雪がふついているときに見通しが悪くなったり、すべったりして大きなけがをするといった、思わぬ事故が起こることがあります。

大雪が予想されているときは、不要な外出はひかえましょう。



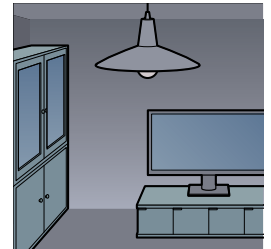
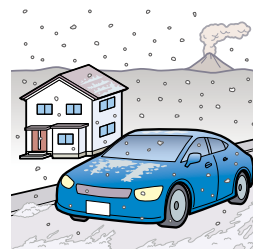
雪におおわれた道路



小さな歩はばで、できるだけ足のうら全体を地面につけるように歩く。

火山の灰による被害

千葉県では、これまでふん火を記録した火山はありませんが、富士山(1707年)や浅間山(2004年、2009年)、三原山(1986年)のふん火により、灰がふったことが観測されています。富士山が1707年と同様にふん火すると、県内で4~5 cm以上の火山灰が積もり、健康への被害、鉄道・航空・道路などへのえいきょう、停電、通信しよう害などの被害が発生するおそれがあります。

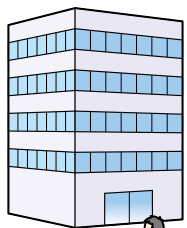


灰がふったときにすること

- 外出はできるだけひかえる。
- 外出する場合には、マスクやハンカチなどで鼻と口をおおう。
- 家に帰ったら、うがい、手あらい、せん顔を行う。



Jアラート一鳴ったらすぐ避難



建物の中に避難する。



屋内では、まどからはなれる。

全国瞬時警報システム(Jアラート)とは、弾道ミサイル情報、緊急地震速報、大津波警報など、すぐに対処する必要がある情報を緊急速報メール、市町村の防災行政無線などにより、伝えるシステムです。

※弾道ミサイル情報が発表された場合には、すぐに身の安全を守るよう行動しましょう。屋内ではまどからはなれ、屋外では近くのできるだけがんじょうな建物、もしくは地下へ避難し、頭部を守りましょう。